

## 環境影響評価審査会 総会 会議録案

- 1 日時：平成30年1月22日（月） 9時30分～10時20分
- 2 場所：ラッセホール 5階 サンフラワー
- 3 議題：株式会社神戸製鋼所神戸製鉄所火力発電所（仮称）設置計画に係る環境影響評価準備書のデータ検証について
- 4 出席委員：服部委員（会長）、山下委員（副会長）上甫木委員、川井委員、近藤委員、澤木委員、島委員、住友委員、中野委員、西田委員、西村委員、益田委員、三橋委員、横山委員
- 5 兵庫県：環境影響評価室長、審査情報班長他係員3名  
水大気課、温暖化対策課、環境整備課、自然環境課、水エネルギー課
- 6 配付資料
  - 資料1 神戸製鉄所火力発電所（仮称）設置計画環境影響評価準備書等に関するデータ検証について（県資料）
  - 資料2 神戸市によるデータ検証の概要（神戸市資料）
- 7 議事概要

事務局が資料1により、将来予測に関するデータ検証部分について説明。

〔質疑〕

（委員）

大気拡散の件ですが、式は非常に明確になっておりまして、条件の設定方法も非常に明確になっておりますので、そのとおりに入れれば同じ結果が出ると思っております。非常に微小なことですが、灘浜のところで0.02304で、計算すると0.023032ということで、四捨五入すると最後のところの桁落ちがあるということですが、先ほど説明があったように、計算方法が若干違って、準備書では頻度をまとめて計算しているが、検証は1時間毎にやっているということで、おそらく桁落ちか何かで起こっている可能性もあるのかな、ということで、これで概ね妥当かなというのが私の感想です。

（委員）

専門としている流れと水質の件ですが、検証はかなりご苦労されたかと思えます。大気と違って水質のシミュレーションはかなり特殊なシミュレーションであり、プログラムを入手して同じようにやるというのはほぼ不可能に近いです。ここでは、計算条件が適切に設定されて計算されているかということと、実際にその条件を使ってシミュレーションしたのかどうかという検証が必要なことと、それから出力結果をきちっと解析に利用しているかどうか、こういう計算プロセスの過程の確認が必要だと思えますが、一応それについては全て確認されているようなので、水質計

算、拡散予測の計算については特に問題はないのかなというふうに感じています。

委員より、今回のアセスメント書類に関するデータ検証に係る環境アセスメント制度としての対応に関する意見を説明。

(委員の意見概要)

今回のアセスメントの書類のデータ検証プロセスを含む事例は、おそらくアセスメント史上初めてのことであるが、複数の事案が重なった場合や検証の規模が大きな場合には、事務処理や検証において時間がかかるため、アセスメント法令上の回答期限を守ることが困難になるケースも考えられる。そのため、今回のような事案に対応するための環境影響評価手続のルール整理が望まれる。

今回のアセス書類に関するデータ検証の結果について、出てきたものの中にいくつか課題があったこと、元々のデータを取る段階で改ざんがあった場合には、検証のしようがないということをしっかり書いておいてほしい。

また、アセスメントの結果自体が妥当かどうかというのは、事後監視調査で出てくるデータとの突き合わせでしか検証できないので、しっかりと対応してほしい。

今回はこういった特殊な事例となっているため、条例に基づく事後監視調査だけではなく、法に基づく事後監視調査についても実施し、より多くの人がある調査結果を見られるようにした方が良くと思う。

今日のデータやいろいろな基礎データについては、事業が開始された後にもしっかり対応できるようにするために、公開できるように、公開方法も含めて検討してほしい。

[質疑]

(事務局)

ご意見ありがとうございます。特に事業実施後の事後監視調査を十分に活用していきたいと思っています。特に県条例では法律と異なり、法律はおっしゃるとおり不確実性がある場合に限り報告書を提出しなければならないとなっていますが、県条例では、不確実性の有無に関わらず、アセスを行った事業については、工事中から事後監視調査をきっちり行っていき、それを公表するということが義務づけられておりますので、それを十分に活用してアセスメントの結果が妥当だったかどうかということを今後とも確認していきたいと思っております。

また、図書等や事後監視調査の結果の公表については、条例に基づき手続を踏んだ場合に公表することが義務づけられております。法対象についても、この条例の事後監視調査は義務づけられておりますので、十分に活用できると思っております。また、本事業は法対象事業ですので、法に基づく報告書というのは、どういうふうに事業者にとっていくのかというのを、答申の中でどういうふうに位置づけられるのかというのは、またご議論いただきたいと思っております。

(会長)

それでは、他に意見がないようなので、この度のデータ検証に関する総括をした

いと思います。データ検証を実施した結果、データの転記ミスや計算ミス等は確認されたが、データの改ざん等は確認されなかった。準備書に用いられた実測データや予測計算に関して、検証した範囲で特に問題はない。ということでまとめたいと思います。今後、準備書の内容については、部会で審査していただきたいと思います。部会長はじめ、部会委員の皆さまよろしくお願ひいたします。

以上